

# 東京大空襲を語り継ぐつどい

東京大空襲・戦災資料センター 開館 16 周年

日時：2018年3月4日(日)

開場 13時 開会 13時30分

会場：ティアラこうとう(江東公会堂) 大会議室

定員：300名(当日先着順) 参加費：500円(高校生以下無料)

講演 窪島誠一郎さん(無言館館主/作家)

「『東京大空襲』と私」

ハーブ演奏 八木健一さん

東京大空襲への鎮魂歌「祈り・光へ」ほか

\* 体験を語る 小林暢夫さん

「“戦争” 死語となる日は.....

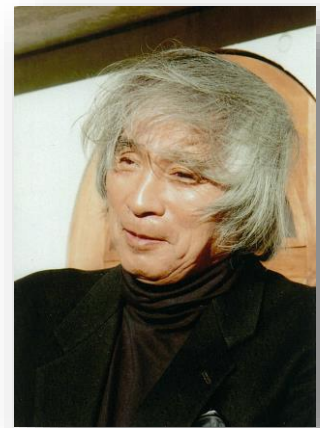
悲惨な空襲を語る」

\* センターこの1年の活動

\* 新作証言映像作品の上映 (証言者：竹内静代さん 旧城東区北砂で被災)

\* センターで学ぶ子どもたち

\* あいさつ 早乙女勝元(東京大空襲・戦災資料センター館長)



講師 窪島誠一郎さん



〈主催〉東京大空襲を語り継ぐ実行委員会

〈連絡先〉東京大空襲・戦災資料センター

<http://www.tokyo-sensai.net>

〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4

TEL:03-5857-5631

FAX:03-5683-3326

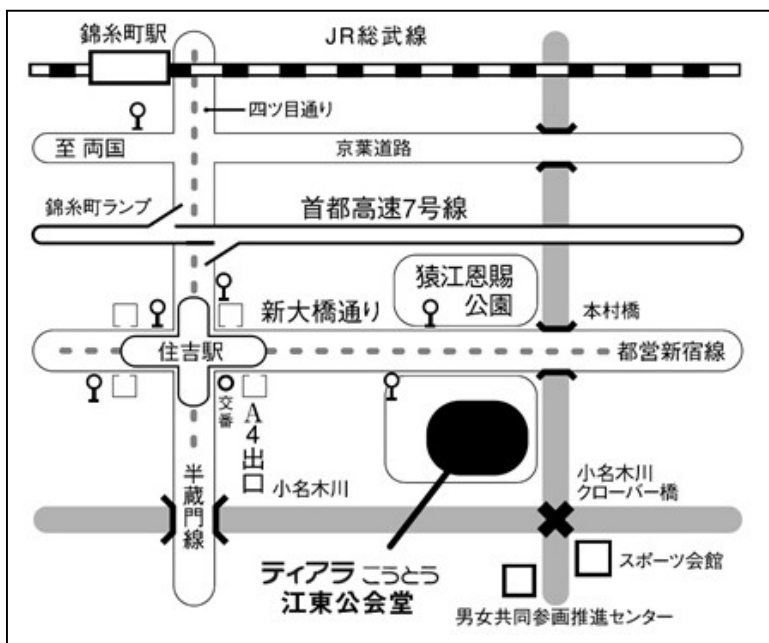
## 講師プロフィール & メッセージ

1941(昭和 16)年東京生まれ。信濃デッサン館・無言館館主、作家。印刷工、酒場経営などを経て、64(同 39)年、東京都世田谷区に小劇場運動の草分けとなる「キッド・アイラック・アート・ホール」を設立。79(同 54)年、長野県上田市に夭折画家のデッサンを展示する「信濃デッサン館」を、97(平成 9)年、同館隣接地に戦没画学生慰霊美術館「無言館」を設立。『父への手紙』『明大前物語』(筑摩書房)、『信濃デッサン館日記』『無言館の坂道』『雁と雁の子』(平凡社)、『無言館ノオト』『石榴(ざくろ)と銃』『鬼火の里』(集英社)、『「無言館」への旅』『高間筆子幻景』(白水社)、近刊に初めての絵本『約束』『いのち』(アリス館)、『父水上勉』『自傳「をあるく」』(白水社)など著書多数。第46回産経児童出版文化賞、第14回地方出版文化功労賞、第7回信毎賞、第13回NHK地域放送文化賞を受賞。2005(平成 17)年、「無言館」の活動で第53回菊池寛賞受賞。平和活動にあたえられる第1回澄和フューチャリスト賞を受賞。

### ～「空襲」の話～

私はどうも「空襲」の話が苦手である。昭和 16 年の開戦半月ほど前に東京で生まれた男なのに、「空襲の記憶は？」と問われると答えに窮する。東京に雨アラレのように焼夷弾が落とされた昭和 20 年当時、私は 4 歳になったばかりで、親子 3 人で宮城県石巻の静かな漁村に疎開していたからだ。終戦後、東京に引き揚げてきたとき、暮らしていた世田谷明大前一带はいちめんの焼け野原だった。

そんな、実際に体験していないはずの東京空襲なのに、今頃になってヒリヒリと、まるで低温ヤケドのように「あの頃」のことが甦<sup>よみがえ</sup>ってくるのはなぜだろう。虎の子の家や家財を焼き払われ、戦後の焼け跡を地を這うように生きた両親の苦しみが、76 歳になった私の心に「記憶」のシミとなって残っているからだろうか。



## 会場案内図 ティアラこうとう

電車利用 地下鉄 都営新宿線  
東京メトロ半蔵門線  
「住吉」駅下車  
A4 出口より徒歩 4 分

- バス利用
1. 東 22 系統 錦糸町駅～東陽町駅  
「住吉駅前」下車徒歩 5 分
  2. 錦 11 系統 錦糸町駅～築地駅  
「住吉駅前」下車徒歩 5 分
  3. 錦 28 系統 錦糸町駅～東大島駅  
「江東公会堂前」下車徒歩 1 分